



 **rakumo Sync**

# インストールマニュアル

---

Salesforce と Google Workspace のカレンダーをリアルタイムで双方向に同期させるツール

rakumo 株式会社

2024/06/27

## はじめに

rakumo Sync をご利用くださいます、誠にありがとうございます。

rakumo Sync は、会社で利用する Salesforce の行動カレンダーと Google Workspace（旧称：G Suite）の Google カレンダーをリアルタイムで、かつ双方向で同期するツールです。

本マニュアルでは、rakumo Sync をご利用する準備と仕様について、ご案内をしています。導入時には、本マニュアルをご参照ください。

## 目 次

<b>1. Salesforce に rakumo Sync をインストールする</b> .....	4
初めにお読みください.....	4
rakumo Sync をインストールする .....	5
<b>2. ユーザーにライセンスを付与する</b> .....	13
<b>3. 認証とプロフィールを設定する</b> .....	17
3-1. rakumo Sync Admin を設定する .....	17
3-2. rakumo Sync Engine の設定 .....	23
<b>4. Google Workspace 設定</b> .....	29
<b>5. 同期対象ユーザー設定</b> .....	35
CSV ファイルを使って一括で登録する .....	36
<b>6. Salesforce にユーザーアカウントを持っていないユーザー * を登録</b> .....	39
<b>7. 全ユーザーの同期を開始／停止</b> .....	40
<b>8. ログの閲覧</b> .....	41
<b>9. rakumo Sync による同期処理項目について</b> .....	44
<b>10. rakumo Sync による同期処理が制限される項目とその内容について</b> .....	46
<b>11. rakumo Sync による同期処理対象外の項目とその内容について</b> .....	48
<b>12. プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] ご利用時の追加設定</b> .....	49
12-1. 追加設定手順 .....	51

# 1. Salesforce に rakumo Sync をインストールする

## 初めにお読みください

### ▼ インストール前のご注意点 ▼

#### ➤ rakumo Sync と同じ仕様、機能を持つ別のツールのご利用について

rakumo Sync は、Salesforce の行動カレンダーと Google Workspace（旧称：G Suite）の Google カレンダーをリアルタイムで、かつ双方向で同期するツールです。rakumo Sync と同じ仕様、機能を持つ別のツールをすでに使用中のとき、この別ツールを Salesforce からアンインストールしてください。その後に、rakumo Sync をインストールしてください。

別ツールと rakumo Sync を一緒に使用すると、お互いのツール間で予定を同期するため、同期が際限なく繰り返される事態が生じてしまいます。

#### ➤ ログイン IP アドレス制限 と rakumo Sync について

Salesforce 上でプロファイルに対し[ログイン IP アドレスの制限]を行っている場合、インストール操作に加えて、別途 rakumo Sync が制限の影響を受けないよう設定を実施する必要があります。

詳しくは、12. プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] ご利用時の追加設定 章をご参照いただき、ご対応くださいますようお願いいたします。

### ▼ rakumo Sync 対象 Salesforce エディション ▼

- Professional Edition 以上

### ▽ rakumo Sync 対象 Google Workspace（旧称：G Suite） ▽

- Google Workspace Business
- Google Workspace Enterprise
- Google Workspace Frontline
- Google Workspace for Education
- Google Workspace for Nonprofits
- Google Workspace for Government

## rakumo Sync をインストールする

1. Salesforce のシステム管理者アカウントで、次の URL へアクセスをしてください。

<https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=a0N3A00000E9I3nUAB>

2. [今すぐ入手] をクリックします。



3. [ログイン] を選択して、Trailblazer アカウントにログインします。



4. 「このパッケージをどこにインストールしますか？」の画面が表示されます。



**本番環境にインストール**・・・自社で導入している Salesforce の本番環境へインストールされます。

**Sandbox にインストール**・・・自社で導入している Salesforce のコピー環境へインストールされます。

5. **契約条件** をご確認後、「私は **契約条件** を読み、同意します」にチェックを入れて、「確認してインストール」をクリックしてください。

インストールの詳細を確認

パッケージ rakumoSocialScheduler (2023-04-13v1.21.16 / 1.21.16)	バージョン 2023-04-13v1.21.16 / 1.21.16
サブスクリプション 無料	組織 [redacted]
期間 30 日数	登録者の数 サイト全体
ユーザ名 [redacted]	

プロフィールの次の詳細が共有されます

\* 名 太郎      \* 会社 rakumo株式会社      [プロフィールを編集](#)

\* 姓 吉沢      \* 国 Japan

役職      都道府県

\* 電子メール [redacted]

電話 [redacted]

☐ 私は契約条件を読み、同意します

Salesforce.com Inc. はこのアプリケーションのプロバイダではなく、限られたセキュリティレビューを行いました。このレビューに含まれている内容と含まれていない内容の詳細情報については、[AppExchange セキュリティレビュー](#)を参照してください。

☐ 関心のある他の製品やサービスについて、プロバイダからのメール、電話、または SMS による連絡を希望する


キャンセル      **確認してインストール**

6. 「インストール rakumo Sync」画面が表示されます。

インストール先を指定します。指定先のユーザーが、rakumo Sync を使用できます。

- **管理者のみのインストール**・・・システム管理者だけに rakumo Sync がインストールされます。
- **すべてのユーザのインストール**・・・全てのユーザーに rakumo Sync がインストールされます。
- **特定のプロフィールのインストール**・・・指定したプロフィールのユーザーに rakumo Sync がインストールされます。


**インストール rakumo Sync**  
コメント作成者 rakumo 株式会社



☐ 管理者のみのインストール



☐ すべてのユーザのインストール



☒ 特定のプロフィールのインストール...

**インストール** キャンセル

---

**Select Specific Profiles**

これらのセキュリティ設定によって、パッケージにインストールされているカスタムオブジェクトおよびコンポーネントへのアクセス権が決まります。既存のオブジェクトへの権限には影響ありません。

**標準プロフィール** (参照のみプロフィールを含む) には、インストール済みのカスタムオブジェクトへのアクセス権が与えられません。標準プロフィールの権限は編集できないため、アクセス権を付与するには、プロフィールをコピーする必要があります。

すべてのプロフィールのアクセスレベルを次のように設定 **アクセス権なし** **設定**

プロフィール	アクセス権
システム管理者	フルアクセス (あなたのプロフィールには、このパッケージへのフルアクセス権限が必要です)
標準ユーザ	<b>フルアクセス</b>
参照のみ	<b>アクセス権なし</b>
ソリューション/管理者	<b>アクセス権なし</b>
マーケティングユーザ	<b>アクセス権なし</b>

7. 「サードパーティアクセスの承認」画面が表示されます。

「はい、これらのサードパーティ Web サイトにアクセスを許可します」 にチェックを入れた後、**[次へ]** をクリックします。

**サードパーティアクセスの承認**

このパッケージは、サードパーティ Web サイトとの間でデータを送受信する可能性があります。そうした Web サイトを信頼できるか確認してください。確信が持てない場合は？

**Web サイト**

sync.rakumo.com

**SSL 暗号化**

☒

☒ はい、これらのサードパーティ Web サイトにアクセスを許可します

**次へ**
キャンセル

8. インストールが実行されます。

### インストール rakumo Sync

コメント作成者 rakumo 株式会社



このアプリケーションのインストールには時間がかかります。  
インストールが完了すると、メールで通知されます。

完了

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
rakumo Sync	rakumo 株式会社	v1.1	1.1

**説明**  
簡単な説明。。

インストールを完了した後、インストールを実行したユーザーへメールが届きますので、ご確認ください。

▼ メール件名 ▼

**パッケージ「rakumo Sync」のインストールに成功しました**



## 「特定のプロファイルのインストール」選択時のインストール先プロファイルの確認方法

### ■ Lightning Experience の場合

1. 活動の「項目とリレーション」画面にアクセスします。

Salesforce 画面右上の [歯車] > 「オブジェクトマネージャ」 > [活動] > [項目とリレーション] を選びます。



2. 活動の項目とリレーションの一覧が表示されます。

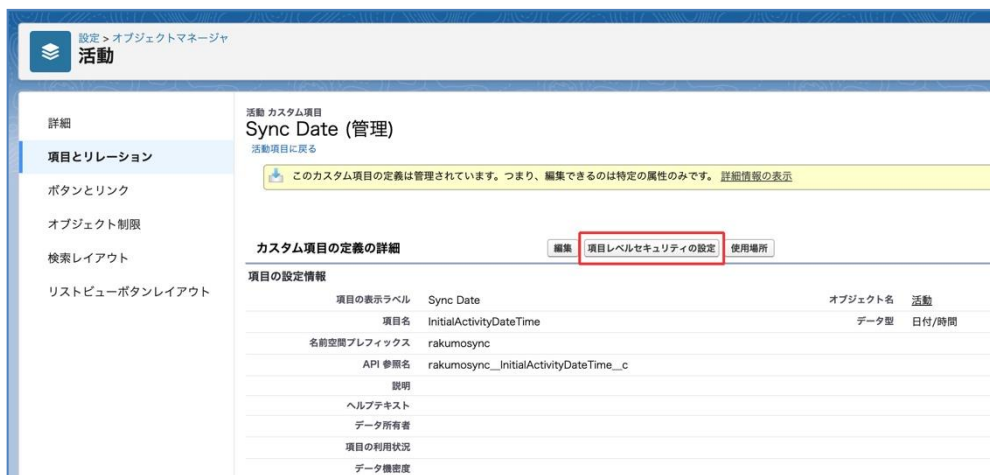
項目の表示ラベルで、次の 3 項目を順番に確認していきます。

- Sync Date
- Sync ID
- Sync Tag

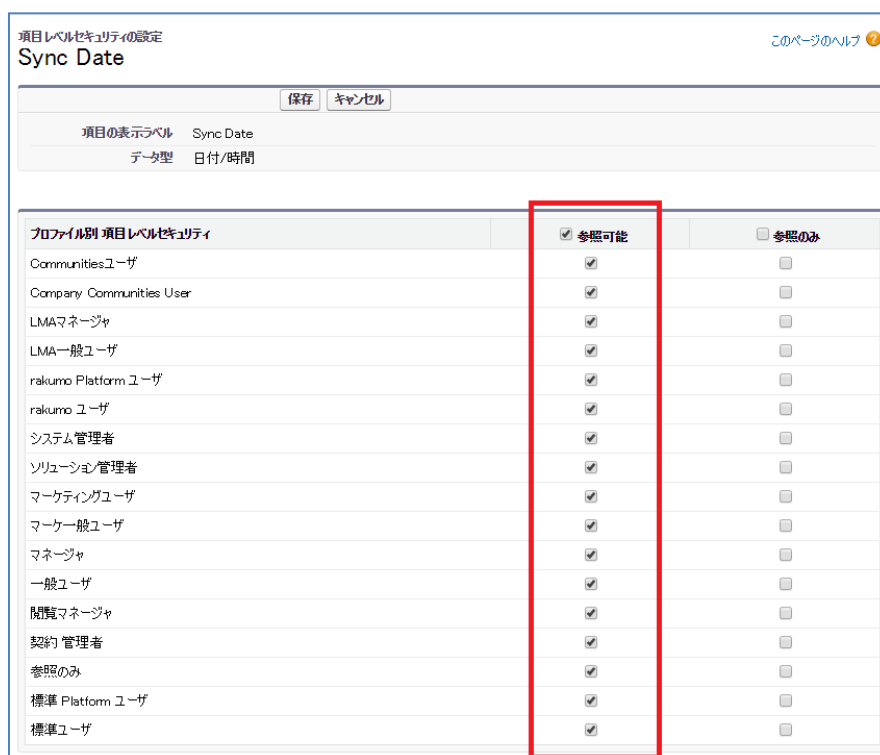


3. [Sync Date] をクリックします。

4. [項目レベルセキュリティの設定] をクリックします。



5. Sync Date の項目レベルセキュリティ画面が表示されます。[参照可能] のみにチェックがオンのプロファイルに、rakumo Sync がインストールされています。追加で、手順 2. に戻って、Sync ID、Sync Tag も同じ操作で確認をしてください。

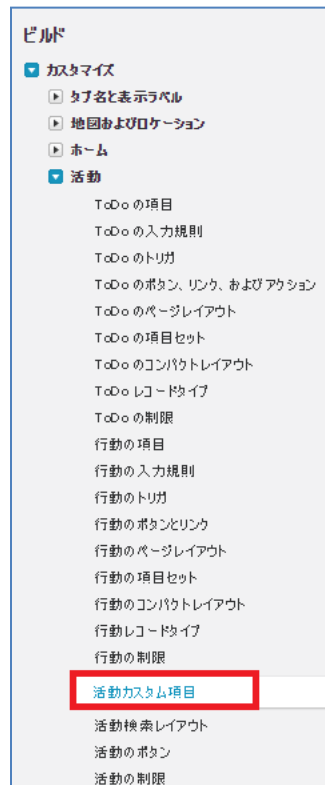


Sync Date、Sync ID、Sync Tag 全てで [参照可能] のみチェックがオンのプロファイルに、rakumo Sync がインストールされています。チェックが外れている場合やインストール時にプロファイルの選択を忘れた場合は、Sync Date、Sync ID、Sync Tag それぞれの項目レベルセキュリティ画面で [参照可能] のみにチェックを入れてください。

## ■ Salesforce Classic の場合

### 1. 活動カスタム項目画面にアクセスします。

Salesforce 画面右上の [設定] > 「ビルド」の [活動] > [活動カスタム項目] を選びます。



### 2. 活動カスタム項目の一覧が表示されます。

項目の表示ラベルで、次の 3 項目を順番に確認していきます。

- Sync Date
- Sync ID
- Sync Tag

活動カスタム項目			
		新規	項目の運動関係
アクション	項目の表示ラベル	API 参照名	インストール済みパッケージ
編集	 <u>Sync Date</u>	rakumosync__InitialActivityDateTime__c	<a href="#">rakumo Sync</a>
編集	 <u>Sync ID</u>	rakumosync__SyncId__c	<a href="#">rakumo Sync</a>
編集	 <u>Sync Tag</u>	rakumosync__SyncTag__c	<a href="#">rakumo Sync</a>

3. [Sync Date] をクリックします。
4. [項目レベルセキュリティの設定] をクリックします。

活動 カスタム項目  
Sync Date (管理)  
[活動項目に戻る](#)

このカスタム項目の定義は管理されています。つまり、編集できるのは特定の属性のみです。詳細情報の表示

カスタム項目の定義の詳細 編集 **項目レベルセキュリティの設定**

項目の設定情報	項目の表示ラベル	Sync Date	オブジェクト名	活動
項目名	InitialActivityDateTime		データ型	日付/時間
名前空間プレフィクス	rakumosync			
API 参照名	rakumosync_InitialActivityDateTime_c			
説明				
ヘルプテキスト				
作成者	基盤整備 担当, 2016/04/06 15:04		更新者	基盤整備 担当, 2016/04/08 18:09

パッケージ情報

インストール済みパッケージ	使用可能なバージョン
rakumo Sync	1.1 - 現在

5. Sync Date の項目レベルセキュリティ画面が表示されます。[参照可能] のみにチェックがオンのプロファイルに、rakumo Sync がインストールされています。追加で、手順 2. に戻って、Sync ID、Sync Tag も同じ操作で確認をしてください。

項目レベルセキュリティの設定  
Sync Date

保存 キャンセル

項目の表示ラベル Sync Date  
データ型 日付/時間

プロファイル別 項目レベルセキュリティ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照可能	<input type="checkbox"/> 参照のみ
Communities ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Company Communities User	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
LMA マネージャ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
LMA 一般ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
rakumo Platform ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
rakumo ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
システム管理者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ソリューション/管理者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マーケティングユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マーケ一般ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マネージャ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
閲覧マネージャ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
契約 管理者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
参照のみ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
標準 Platform ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
標準ユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Sync Date、Sync ID、Sync Tag 全てで [参照可能] のみチェックがオンのプロファイルに、rakumo Sync がインストールされています。チェックが外れている場合やインストール時にプロファイルの選択を忘れた場合は、Sync Date、Sync ID、Sync Tag それぞれの項目レベルセキュリティ画面で [参照可能] のみにチェックを入れてください。

## 2. ユーザーにライセンスを付与する

### ▼ ライセンス付与に関するご注意点 ▼

rakumo Sync を使用するユーザーに、rakumo Sync のライセンスを与えます。

rakumo Sync を購入したお客様は、本番利用開始前にこの操作を行ってください。

トライアル（試用）期間中にご利用いただく際は、この操作は不要です。

トライアル期間の終了後、rakumo Sync を購入した際には、忘れずに本操作を行ってください。

### ■ Lightning Experience の場合

1. [インストール済みパッケージ] 画面にアクセスします。

Salesforce 画面右上の [歯車] > 「ホーム」 > [プラットフォームツール] > [アプリケーション] > [パッケージ] > [インストール済みパッケージ] を選びます。



2. インストール済みパッケージの画面が表示されます。

パッケージ名「rakumo Sync」の [ライセンスの管理] をクリックします。



3. ライセンス付与画面が表示されます。

「**ユーザの追加**」ボタンをクリックして、Salesforce ユーザー\* に rakumo Sync のライセンスを付与します。

「特定のプロファイルのインストール」を選択してインストールをしたとき、「特定のプロファイル」内のユーザーを選んでください。

パッケージの詳細

このページのヘルプ ?

前のページに戻る

パッケージ名

rakumo Sync

公開者

rakumo inc.

状況

有効

許可されているライセンス数

20

有効期限

2017/07/31

使用ライセンス

3

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 |

すべて

ライセンスを付与したユーザ

ユーザの追加

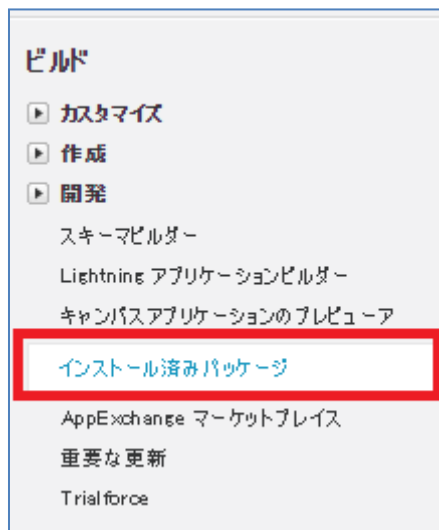
複数ユーザを削除

アクション	氏名 ↑	ロール	有効	プロファイル
削除	技芸 太郎	営業統轄事業部	✓	システム管理者
削除	戸塚 伸也	営業部	✓	rakumo 管理者
削除	鶴見 理香	システムエンジニアリング事業部	✓	カスタム:標準 Platform ユーザー

## ■ Salesforce Classic の場合

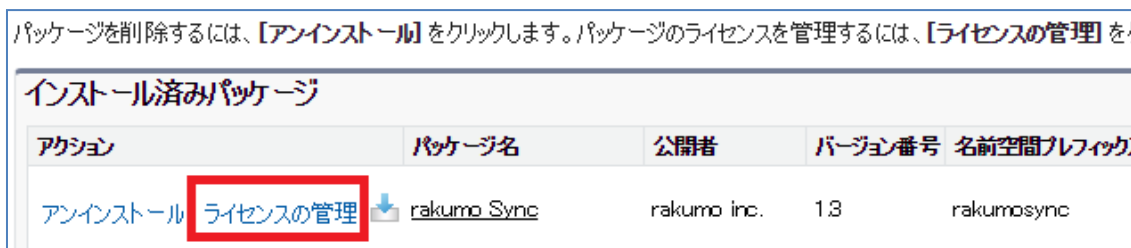
1. [インストール済みパッケージ] 画面にアクセスします。

Salesforce の [設定] > [インストール済みパッケージ] をクリックします。



2. インストール済みパッケージの画面が表示されます。

パッケージ名「rakumo Sync」の [ライセンスの管理] をクリックします。



3. ライセンス付与画面が表示されます。

[ユーザの追加] ボタンをクリックして、Salesforce ユーザー\* に rakumo Sync のライセンスを付与します。

「特定のプロファイルのインストール」を選択してインストールをしたとき、「特定のプロファイル」内のユーザーを選んでください。

## rakumo Sync

[前のページに戻る](#)

パッケージ名	rakumo Sync	公開者	rakumo inc.
状況	有効	許可されているライセンス数	20
有効期限	2017/07/31	使用ライセンス	3

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 [すべて](#)

### ライセンスを付与したユーザ

[ユーザの追加](#)

[複数ユーザを削除](#)

アクション	氏名 ↑	ロール	有効	プロフィール
<a href="#">削除</a>	技芸 太郎	営業統轄事業部	✓	システム管理者
<a href="#">削除</a>	戸塚 伸也	営業部	✓	rakumo 管理者
<a href="#">削除</a>	鶴見 理香	システムエンジニアリング事業部	✓	カスタム:標準 Platform ユーザー



## 3. 認証とプロフィールを設定する

### 3-1. rakumo Sync Admin を設定する

rakumo Sync を管理するユーザーのプロファイルを指定します。

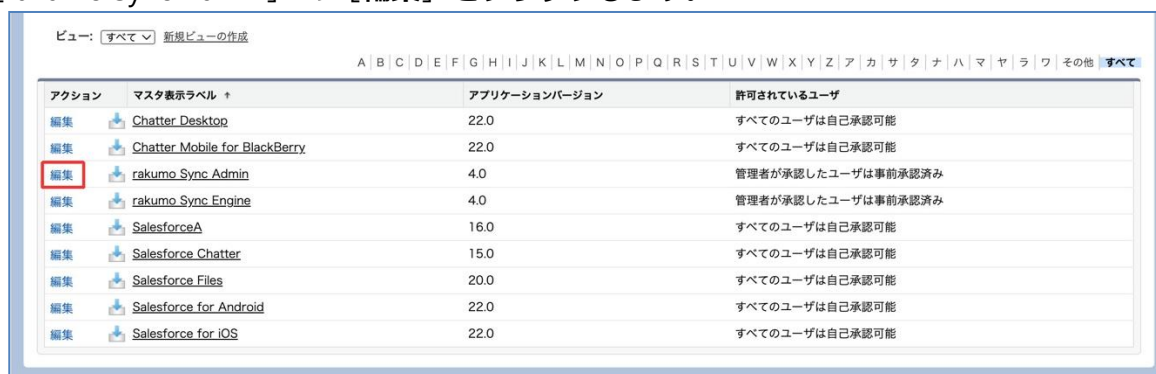
#### ■ Lightning Experience の場合

1. [接続アプリケーションを管理する] にアクセスします。

Salesforce 画面右上の [歯車] > 「ホーム」 > [プラットフォームツール] > [アプリケーション] > [接続アプリケーション] > [接続アプリケーションを管理する] を選びます。



2. [rakumo Sync Admin] の [編集] をクリックします。



3. OAuth ポリシー > 「許可されているユーザ」 のプルダウンを「管理者が承認したユーザは事前承認済み」に変更して、[保存] をクリックします。

接続アプリケーション  
rakumo Sync Admin このページのヘルプ ?

---

接続アプリケーションの編集



バージョン 4  
説明

---

基本情報 ! = 必須情報

開始 URL

モバイル開始 URL

---

OAuth ポリシー

許可されているユーザ **管理者が承認したユーザは事前承認済み ▼**

IP 制限の緩和 **IP 制限を適用 ▼**  
 更新トークンポリシー:
 

- ☒ 更新トークンは取り消されるまで有効
- ☐ 更新トークンを直ちに期限切れにする
- ☐ 次で使用されていない更新トークンを期限切れにする  日 ▼
- ☐ 次の時間が経過したら更新トークンを期限切れにする  日 ▼

4. 2. 同じ画面で、今度はマスタ表示ラベルの [ **rakumo Sync Admin** ] をクリックします。

ビュー: すべて ▼ 新規ビューの作成

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 | **すべて**

アクション	マスタ表示ラベル	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
編集	Chatter Desktop	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Chatter Mobile for BlackBerry	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	<b>rakumo Sync Admin</b>	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	rakumo Sync Engine	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	SalesforceA	16.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce Chatter	15.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce Files	20.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce for Android	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce for iOS	22.0	すべてのユーザは自己承認可能

5. rakumo Sync Admin の詳細画面下部の [ **プロフィールを管理する** ] をクリックします。

設定

接続アプリケーション

rakumo Sync Admin

最後に開いたビュー: ユーザ

このページのヘルプ


接続アプリケーションの詳細

ポリシーを編集

アンインストール

バージョン 4

説明



System Info

インストール実行者	本館 管理	インストール日	2018/07/24 14:27
最終更新者	自動化プロセス	最終更新日	2020/07/19 2:49

このアプリケーションのサポート

キャンパス	✓
-------	---

基本情報

情報 URL	開始 URL
	モバイル開始 URL

OAuth ポリシー

許可されているユーザ	管理者が承認したユーザは事前承認済み	IP 制限の緩和	IP 制限を適用
利用状況	OAuth 利用状況を表示	更新トークンポリシー	更新トークンは取り消されるまで有効
シングルログアウト	シングルログアウトが無効になりました		
アプリケーション権限	いつでも要求を実行		
	API を使用してユーザデータを管理		

セッションポリシー

タイムアウト値	
---------	--

カスタム接続アプリケーションハンドラ

Apex プラグインクラス	
別のユーザとして実行	

ユーザプロビジョニング設定

<input type="checkbox"/> ユーザプロビジョニングを有効化
--

OAuth Web サーバフローの信頼済み IP 範囲

アプリケーションで定義された IP 範囲がありません
----------------------------

プロファイル

プロファイルを管理する

プロファイルの説明

5. 「**アプリケーションプロファイルの割り当て**」 画面が表示されます。

rakumo Sync 管理画面 (Admin) へのアクセスを許可するユーザーのプロファイルを指定します。  
 チェックボックスで選択した後に、**保存** ボタンをクリックしてください。

アプリケーションプロファイルの割り当て

このページのヘルプ

接続アプリケーションの詳細に戻る

このアプリケーションへのアクセス権を持つユーザを選択するには、適切なプロファイルを選択してください。

選択	プロファイル	説明
<input type="checkbox"/>	Force.com - Free User	
<input checked="" type="checkbox"/>	カスタム：システム管理者 (rakumo管理者)	
<input type="checkbox"/>	カスタム：標準ユーザ (rakumo一般)	
<input checked="" type="checkbox"/>	システム管理者	
<input type="checkbox"/>	パートナーユーザ	
<input type="checkbox"/>	マーケティングユーザ	
<input type="checkbox"/>	標準 Platform ユーザ	
<input type="checkbox"/>	標準 Platform ユーザコピー (rakumo)	
<input type="checkbox"/>	標準ユーザ	

保存

キャンセル

## ■ Salesforce Classic の場合

1. [接続アプリケーション] にアクセスします。

設定 > [管理] > [アプリケーションを管理する] > [接続アプリケーション]  
をクリックします。

クイック検索/検索...

すべて展開 | すべて折りたたむ

Lightning Experience  
切り替えアシスタント  
より生産性の高い新しい  
Salesforce に移行します。  
使用を開始する

Salesforce モバイルクイックスタート

ホーム

管理

- リリース更新
- ユーザの管理
- アプリケーションを管理する
  - 接続アプリケーション
  - 接続アプリケーションの  
OAuth の利用状況
  - アプリケーションメニュー

使用開始

アプリケーションをビルドする  
ワンステップのみで基本的なアプリケーションを生成  
し、数回のクリックまたはコードで簡単にそのアプリ  
ケーションを拡張します。  
アプリケーションを追加する

Salesforce  
Lightning  
高機能性、高速性、簡便性  
を備えた新しい Salesforce  
ユーザエクスペリエンスを体  
感してください。  
開始

最近使ったデータ beta

名前	種別	オブジェ
rakumo表示グループ	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用設備	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用設備カテゴリ	カスタムオブジェクトの定義	
rakumoフィード投稿先グループ	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用イベントID	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用予定種別カラー	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用設備予定	カスタムオブジェクトの定義	

2. 「rakumo Sync Admin」 の [編集] をクリックします。

接続アプリケーション

この Salesforce 組織に接続するアプリケーションへのアクセスを管理します。

アプリケーションアクセス設定 編集

☒ キャンパス個人用アプリケーションのインストールをユーザに許可します

ビュー: すべて 新規ビューの作成

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ア カ サ タ ナ ハ マ

アクション	マスタ表示ラベル ↑	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
<span>編集</span>	rakumo Sync Admin	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
<span>編集</span>	rakumo Sync Engine	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
<span>編集</span>	SalesforceA	16.0	オペラのユーザは自己承認可能

3. OAuth ポリシー > 「許可されているユーザ」 のプルダウンを「管理者が承認したユーザは事前承認済み」に変更して、[保存] をクリックします。

接続アプリケーション  
rakumo Sync Admin

このページのヘルプ

### 接続アプリケーションの編集



バージョン 4  
説明

#### 基本情報

開始 URL  ⓘ      モバイル開始 URL  ⓘ

#### OAuth ポリシー

許可されているユーザ **管理者が承認したユーザは事前承認済み** ▼

IP 制限の緩和       IP 制限を適用  ▼

更新トークンポリシー

- ☒ 更新トークンは取り消されるまで有効
- ☐ 更新トークンを直ちに期限切れにする
- ☐ 次で使用されていない更新トークンを期限切れにする  日 ▼
- ☐ 次の時間が経過したら更新トークンを期限切れにする  日 ▼

! = 必須情報

4. 2. 同じ画面で、今度はマスタ表示ラベルの **[ rakumo Sync Admin ]** をクリックします。

### 接続アプリケーション

この Salesforce 組織に接続するアプリケーションへのアクセスを管理します。

#### アプリケーションアクセス設定

☒ キャンパス個人用アプリケーションのインストールをユーザに許可します

ビュー:  ▼ [新規ビューの作成](#)

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ア カ サ タ ナ ハ マ

アクション	マスタ表示ラベル	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
編集	<b>rakumo Sync Admin</b>	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	rakumo Sync Engine	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	SalesforceA	16.0	すべてのユーザは自己承認可能

4. rakumo Sync Admin 画面の **[ プロファイルを管理する ]** をクリックします。

接続アプリケーション
rakumo Sync Admin
印刷用に表示 | このページのヘルプ

「最後に開いたビューへ: 接続アプリケーション」
接続アプリケーションの詳細
編集
バージョン 4
説明



System Info
インストール実行者 技芸 太郎
インストール日 2016/05/16 21:15
最終更新者 技芸 太郎
最終更新日 2016/08/24 8:47

このアプリケーションのサポート
Force.com Canvas

基本情報
情報 URL
開始 URL
モバイル開始 URL

OAuth ポリシー
許可されているユーザー 管理者が承認したユーザーは事前承認済み
利用状況 OAuth 利用状況を表示
このアプリケーションの権限対象 ユーザーに代わっていつでも要求を実行
このアプリケーションの権限対象 データへのアクセスと管理
更新トークンポリシー IP 制限の適用
更新トークンポリシー IP 制限を適用
更新トークンは取り消されるまで有効

セッションポリシー
タイムアウト値

カスタム接続アプリケーションバンドラ
Apex プラグインクラス
別のユーザーとして実行

ユーザープロビジョニング設定
ユーザープロビジョニングを有効化

OAuth Web サービスの信頼済み IP 範囲
アプリケーションで定義された IP 範囲がありません

プロフィール
プロフィールを管理する
プロフィールの説明

5. 「アプリケーションプロフィールの割り当て」 画面が表示されます。

rakumo Sync 管理画面 (Admin) へのアクセスを許可するユーザーのプロファイルを指定します。  
 チェックボックスで選択した後に、[保存] ボタンをクリックしてください。

アプリケーションプロフィールの割り当て
このページのヘルプ

「接続アプリケーションの詳細に戻る」
このアプリケーションへのアクセス権を持つユーザーを選択するには、適切なプロファイルを選択してください。

選択	プロファイル	説明
<input type="checkbox"/>	Chatter External User	
<input type="checkbox"/>	Chatter Free User	
<input type="checkbox"/>	Chatter Moderator User	
<input checked="" type="checkbox"/>	システム管理者	
<input type="checkbox"/>	ソリューション管理者	
<input type="checkbox"/>	マーケティングユーザー	
<input type="checkbox"/>	契約管理者	
<input type="checkbox"/>	参照のみ	
<input type="checkbox"/>	標準ユーザー	

保存 キャンセル

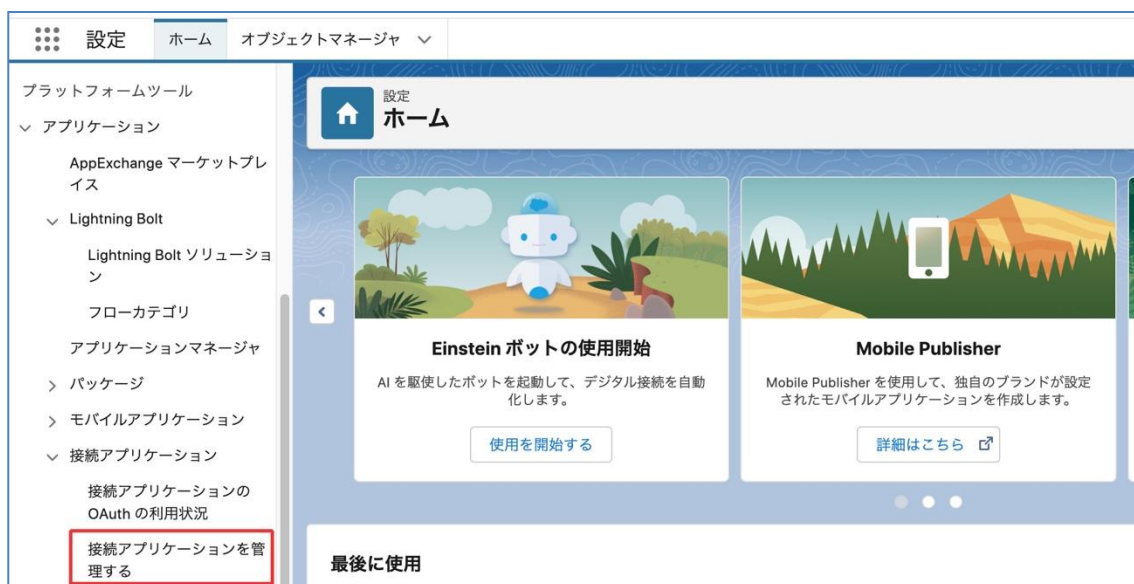
## 3-2. rakumo Sync Engine の設定

rakumo Sync を使うユーザーのプロファイルを指定します。

### ■ Lightning Experience の場合

1. [接続アプリケーションを管理する] にアクセスします。

Salesforce 画面右上の [歯車] > 「ホーム」 > [プラットフォームツール] > [アプリケーション] > [接続アプリケーション] > [接続アプリケーションを管理する] を選びます。



2. [rakumo Sync Engine] の [編集] をクリックします。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ フ その他 すべて			
アクション	マスタ表示ラベル ↑	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
編集	Chatter Desktop	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Chatter Mobile for BlackBerry	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	rakumo_Sync_Admin	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	rakumo_Sync_Engine	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	SalesforceA	16.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce Chatter	15.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce Files	20.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce for Android	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce for iOS	22.0	すべてのユーザは自己承認可能

3. OAuth ポリシー > 「許可されているユーザ」 のプルダウンを「管理者が承認したユーザは事前承認済み」に変更して、[保存] をクリックします。

接続アプリケーション  
rakumo Sync Admin このページのヘルプ

---

接続アプリケーションの編集



バージョン 4  
説明

---

基本情報 ! = 必須情報

開始 URL

モバイル開始 URL

---

OAuth ポリシー

許可されているユーザ **管理者が承認したユーザは事前承認済み**

IP 制限の緩和  IP 制限を適用   
 更新トークンポリシー:
 

- ☒ 更新トークンは取り消されるまで有効
- ☐ 更新トークンを直ちに期限切れにする
- ☐ 次で使用されていない更新トークンを期限切れにする  日
- ☐ 次の時間が経過したら更新トークンを期限切れにする  日

4. 2. 同じ画面で、今度はマスタ表示ラベルの [ **rakumo Sync Engine** ] をクリックします。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ フ その他 すべて			
アクション	マスタ表示ラベル ↑	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
編集	Chatter Desktop	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Chatter Mobile for BlackBerry	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	rakumo Sync Admin	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	<b>rakumo Sync Engine</b>	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	SalesforceA	16.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce Chatter	15.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce Files	20.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce for Android	22.0	すべてのユーザは自己承認可能
編集	Salesforce for iOS	22.0	すべてのユーザは自己承認可能

5. rakumo Sync Admin の詳細画面下部の [ **プロフィールを管理する** ] をクリックします。



設定

接続アプリケーション  
rakumo Sync Engine  
\* 最後に開いたビュー: ユーザ

接続アプリケーションの詳細 [ポリシーを編集](#) [アンインストール](#)

バージョン 4  
説明

**System Info**

インストール実行者	本館 管理	インストール日	2018/07/24 14:27
最終更新者	自動化プロセス	最終更新日	2020/07/19 2:49

**基本情報**

情報 URL	開始 URL
	モバイル開始 URL

**OAuth ポリシー**

許可されているユーザ	管理者が承認したユーザは事前承認済み	IP 制限の緩和	IP 制限を適用
利用状況	OAuth 利用状況を表示	更新トークンポリシー	更新トークンは取り消されるまで有効
シングルログアウト	シングルログアウトが無効になりました		
アプリケーション機能	いつでも要求を実行		
	API を使用してユーザデータを管理		

**セッションポリシー**

タイムアウト値
---------

**カスタム接続アプリケーションハンドラ**

Apex プラグインクラス
別のユーザとして実行

**ユーザプロビジョニング設定**

☐ ユーザプロビジョニングを有効化 [?](#)

**OAuth Web サーバフローの信頼済み IP 範囲**

アプリケーションで定義された IP 範囲がありません

**プロフィール** [プロフィールを管理する](#)

プロフィール [プロフィールの説明](#)

5. 「**アプリケーションプロフィールの割り当て**」 画面が表示されます。

rakumo Sync を使用するユーザーのプロファイルを指定します。

チェックボックスで選択した後に、**【保存】** ボタンをクリックしてください。

「特定のプロフィールのインストール」を選択してインストールをした場合は、インストール対象として指定したプロフィールだけを選んでください。

アプリケーションプロフィールの割り当て [このページのヘルプ](#)

[\\* 接続アプリケーションの詳細に戻る](#)

このアプリケーションへのアクセス権を持つユーザを選択するには、適切なプロフィールを選択してください。

選択	プロフィール	説明
<input type="checkbox"/>	Force.com - Free User	
<input checked="" type="checkbox"/>	カスタム: システム管理者 (rakumo管理者)	
<input checked="" type="checkbox"/>	カスタム: 標準ユーザ (rakumo一般)	
<input checked="" type="checkbox"/>	システム管理者	
<input type="checkbox"/>	マーケティングユーザ	
<input type="checkbox"/>	標準 Platform ユーザ	
<input checked="" type="checkbox"/>	標準 Platform ユーザコピー (rakumo)	
<input type="checkbox"/>	標準 ユーザ	

**保存** **キャンセル**

## ■ Salesforce Classic の場合

1. [接続アプリケーション] にアクセスします。

設定 > [管理] > [アプリケーションを管理する] > [接続アプリケーション]  
をクリックします。

クイック検索/検索...

すべて展開 | すべて折りたたむ

Lightning Experience  
切り替えアシスタント  
より生産性の高い新しい  
Salesforce に移行します。  
使用を開始する

Salesforce モバイルクイックスタート

ホーム

管理  
リリース更新  
ユーザの管理  
アプリケーションを管理する  
接続アプリケーション  
接続アプリケーションの  
OAuth の利用状況  
アプリケーションメニュー

使用開始

アプリケーションをビルドする  
ワンステップのみで基本的なアプリケーションを生成し、数回のクリックまたはコードで簡単にそのアプリケーションを拡張します。  
アプリケーションを追加する

Salesforce Lightning  
高性能性、高速性、簡便性を備えた新しい Salesforce ユーザーエクスペリエンスを体感してください。  
開始

最近使ったデータ beta

名前	種別	オブジェクト
rakumo表示グループ	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用設備	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用設備カテゴリ	カスタムオブジェクトの定義	
rakumoフィード投稿先グループ	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用イベントID	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用予定種別カラー	カスタムオブジェクトの定義	
rakumo用設備予定	カスタムオブジェクトの定義	

2. 「rakumo Sync Engine」 の [編集] をクリックします。

接続アプリケーション

この Salesforce 組織に接続するアプリケーションへのアクセスを管理します。

アプリケーションアクセス設定 [編集](#)

☒ キャンパス個人用アプリケーションのインストールをユーザに許可します

ビュー: [すべて](#) [新規ビューの作成](#)

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ア カ サ タ ナ ハ マ

アクション	マスタ表示ラベル +	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
<a href="#">編集</a>	rakumo Sync Admin	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
<a href="#">編集</a>	rakumo Sync Engine	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
<a href="#">編集</a>	SalesforceA	16.0	すべてのユーザは自己承認可能

3. OAuth ポリシー > 「許可されているユーザ」 のプルダウンを「管理者が承認したユーザは事前承認済み」に変更して、[保存] をクリックします。

接続アプリケーション  
rakumo Sync Engine

このページのヘルプ ?

接続アプリケーションの編集

バージョン 4  
説明

基本情報 ! = 必須情報

開始 URL  i      モバイル開始 URL  i

OAuth ポリシー

許可されているユーザ ! 管理者が承認したユーザは事前承認済み ▼

IP 制限の緩和 ! IP 制限を適用 ▼

更新トークンポリシー

- ☒ 更新トークンは取り消されるまで有効
- ☐ 更新トークンを直ちに期限切れにする
- ☐ 次で使用されていない更新トークンを期限切れにする  日 ▼
- ☐ 次の時間が経過したら更新トークンを期限切れにする  日 ▼

4. 2. 同じ画面で、今度はマスタ表示ラベルの [ **rakumo Sync Engine** ] をクリックします。

接続アプリケーション

この Salesforce 組織に接続するアプリケーションへのアクセスを管理します。

アプリケーションアクセス設定 編集

☒ キャンパス個人用アプリケーションのインストールをユーザに許可します

ビュー: すべて ▼ 新規ビューの作成

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ア カ サ タ ナ ハ マ

アクション	マスタ表示ラベル *	アプリケーションバージョン	許可されているユーザ
編集	rakumo Sync Admin	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	<b>rakumo Sync Engine</b>	4.0	管理者が承認したユーザは事前承認済み
編集	Salesforce A	1.6.0	すべてのユーザは自己承認可能

4. rakumo Sync Engine の詳細画面下部の [ **プロフィールを管理する** ] をクリックします。

接続アプリケーション  
**rakumo Sync Engine**  
« 最後に開いたビューへ: 接続アプリケーション  
**接続アプリケーションの詳細**

編集

バージョン 4

説明

印刷用に表示 | このページのヘルプ



System Info

インストール実行者	技芸 太郎	インストール日	2016/05/16 21:15
最終更新者	技芸 太郎	最終更新日	2016/08/24 8:48

基本情報

情報 URL	開始 URL
	モバイル開始 URL

OAuth ポリシー

許可されているユーザ	管理者が承認したユーザは事前承認済み	IP 制限の緩和	IP 制限を適用
利用状況	OAuth 利用状況を表示	更新トークンポリシー	更新トークンは取り消されるまで有効
このアプリケーションの権限対象	ユーザに代わっていつでも要求を実行		
このアプリケーションの権限対象	データへのアクセスと管理		

セッションポリシー

タイムアウト値	
---------	--

カスタム接続アプリケーションバンドラ

Apex プラグインクラス	
別のユーザとして実行	

ユーザプロビジョニング設定

<input type="checkbox"/> ユーザプロビジョニングを有効化	
--	--

OAuth Web サーバローの信頼済み IP 範囲

アプリケーションで定義された IP 範囲がありません
----------------------------

プロファイル

プロファイル

プロファイルの説明

プロファイルを管理する

## 5. 「アプリケーションプロファイルの割り当て」画面が表示されます。

rakumo Sync を使用するユーザーのプロファイルを指定します。チェックボックスで選択した後に、**保存** ボタンをクリックしてください。

「特定のプロファイルのインストール」を選択してインストールをした場合は、インストール対象として指定したプロファイルだけを選んでください。

**アプリケーションプロファイルの割り当て**  
« 接続アプリケーションの詳細に戻る  
 このアプリケーションへのアクセス権を持つユーザを選択するには、適切なプロファイルを選択してください。

このページのヘルプ

選択	プロファイル	説明
<input type="checkbox"/>	Chatter External User	
<input type="checkbox"/>	Chatter Free User	
<input type="checkbox"/>	Chatter Moderator User	
<input checked="" type="checkbox"/>	システム管理者	
<input type="checkbox"/>	ソリューション管理者	
<input type="checkbox"/>	マーケティングユーザ	
<input type="checkbox"/>	契約管理者	
<input type="checkbox"/>	参照のみ	
<input checked="" type="checkbox"/>	標準ユーザ	

保存

キャンセル

## 4. Google Workspace 設定

ランチャーから rakumo Sync を選びます。

### ■ For Lightning Experience



### ■ For Salesforce Classic



同期する Google Workspace のドメインを設定します。

〔Google Workspace の設定〕をクリックします。



同期対象の Google Workspace 特権管理者アカウントで **〔Sign In〕** をクリックします。



「許可のリクエスト」画面が表示されます。〔許可〕をクリックします。  
Google Workspace ログイン画面が同期を行う Google Workspace 組織の管理者アカウントでログインして、同意画面で許可を行って下さい。




Marketplace アプリケーションのインストールをします。引き続き、Google Workspace 特権管理者アカウントで操作をしてください。

Google Workspace Marketplace を開く をクリックします。



2. [ドメインインストール] をクリックします。



**rakumo Sync**  
rakumo.com

☆☆☆☆☆ (0) ・ 79,530


ドメインインストール

個別インストールでは使用できません


**rakumo Sync** カレンダー同期サービス

**Point 1 ▶ リアルタイム同期**

Salesforce のカレンダーユーザーと、Google カレンダーユーザーのスケジュールがリアルタイムに同期され、今まで Platform 別で分かれていたスケジュール情報を常に共有します。




← カレンダー同期 →




**Point 2 ▶ 双方向同期**

「件名」「開始・終了時間」「説明」「終日予定」「場所」「参加者」などの情報が双方向に同期されます。




← 双方向に同期 →




**Point 3 ▶ ゲスト、繰り返し予定も同期**

Salesforce ライセンスを持っていないユーザーを含む複数名での予定も同じように同期可能です。もちろん繰り返し予定も同期可能です。



← ゲスト予定の同期 →



概要

「**続行**」をクリックします。

**ドメイン全体にインストール**

Google Workspace ドメイン全体または特定の組織部門にこのアプリをインストールしようとしています。アプリをインストールすると、Google Workspace ドメインまたは選択した組織部門のすべてのユーザーに、このアプリへのアクセス権が付与されます。Google Workspace 管理者アカウントでは、単一のアカウントへのインストールはサポートされません。

**Google Workspace ドメイン全体または特定の組織部門にこのアプリがインストールされるまでに、最長で 24 時間ほどかかる場合があります。**

**rakumo Sync のインストールを開始するには権限が必要です。**

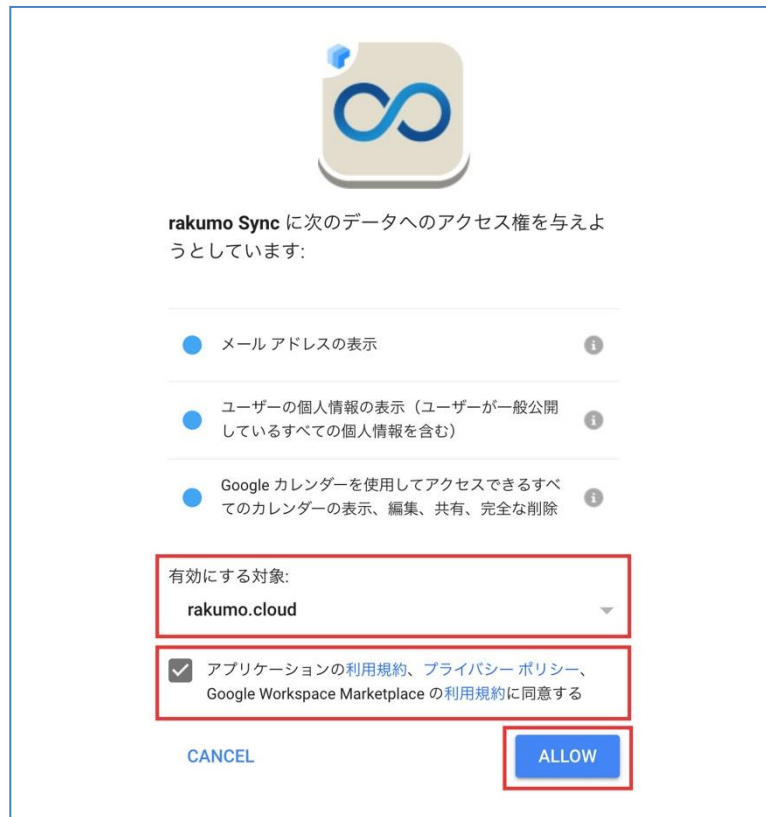
[続行] をクリックすると、自分の情報がこのアプリケーションの利用規約およびプライバシーポリシーに従って使用されることに同意したことになります。

キャンセル
続行

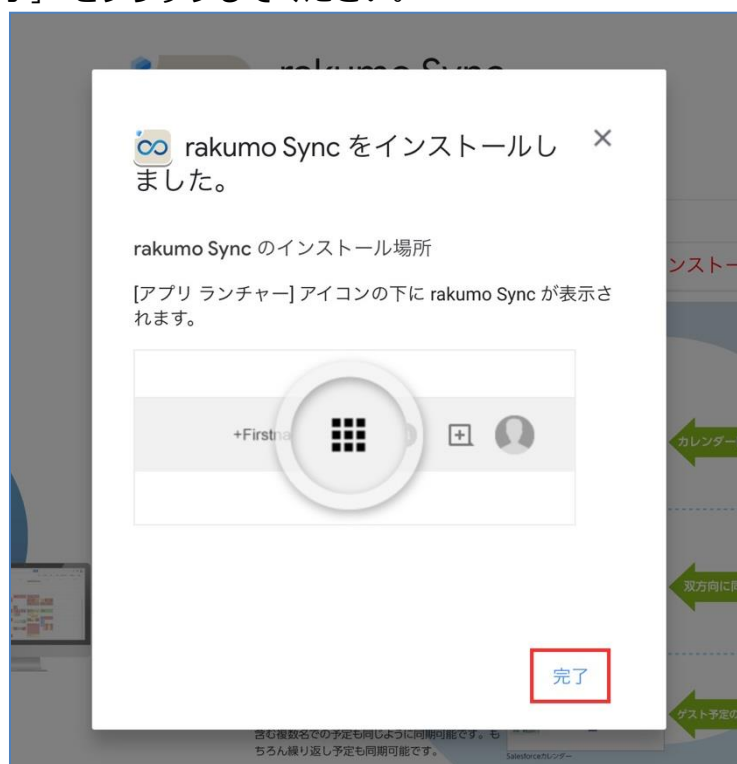
3. 同意画面が表示されます。



「有効にする対象」 組織を選びます。「アプリケーションの利用規約、プライバシーポリシー、Google Workspace Marketplace の利用規約に同意します」を確認して、チェックを入れます。最後に、[ALLOW] をクリックします。



4. 「rakumo Sync をインストールしました。」画面が表示されます。  
画面右下の[完了] をクリックしてください。



Salesforce の rakumo Sync Setup 画面に戻ります。

ドメインの登録画面が表示されます。同期対象ドメインにチェックを入れて、[保存する] をクリックしてください。

rakumo Sync Setup > Google Workspace の設定

### ⚙️ Google Workspace の設定

同期のために必要な Google Workspace の設定を行います。Google Workspace 管理者アカウントが必要です。

#### Sign in with Google

Google Workspace 特権管理者アカウントでサインインしてください。

**admin@rakumo.cloud (rakumo.cloud)** [Google からサインアウト](#)

#### Marketplace アプリケーションのインストール

rakumo Sync が Google カレンダーのデータにアクセスできるようにするために、Marketplace アプリケーションをインストールしてください。

**インストール済み** [Google Workspace Marketplace を開く](#)

#### ドメインの登録

同期を行いたいユーザーを含むドメインを選択し、保存ボタンを押してください。

- ☒ rakumo.cloud
- ☐ multi.rakumo.cloud
- ☐ rakumo.cloud.test-google-a.com
- ☐ secondary.rakumo-testdrive.jp

**保存する**

[戻る](#)

## 5. 同期対象ユーザー設定

1. rakumo Sync Setup 画面の **【ユーザーの設定】** をクリックします。



2. Salesforce のユーザー一覧が表示されます。同期したいユーザーの **【編集】** をクリックします。  
ユーザー検索においては、“氏名”、“別名”、“ユーザー名”にて検索できます。



3. 「Google Workspace アカウント」と「Google カレンダー ID」を入力して、**「保存する」**をクリックします。

rakumo Sync Setup > ユーザーの設定 > 編集

### 編集

Salesforce ユーザーの予定の同期設定を行います。

ユーザーID	00528000003A7y4AAC
氏名	営業 花子
別名	営業 花子
ユーザー名	eigyo_hanako@example.com
メール	eigyou_jiro@cs.demo-3.com
Google Workspace アカウント	<input type="text" value="eigyo_hanako@rakumo.cloud"/>
Google カレンダー ID	<input type="text" value="eigyo_hanako@rakumo.cloud"/>

**保存する**

[戻る](#)

## CSV ファイルを使って一括で登録する

ユーザーの設定を CSV ファイルで一括で登録できます。

**「CSV インポート」**をクリックします。

rakumo Sync Setup > ユーザーの設定

### ユーザーの設定

Salesforce ユーザーの予定の同期設定を行います。


全てのユーザー ▼

**CSV インポート**

1 ~ 17 件 次の20件 >

アクション	ユーザーID	氏名	別名	ユーザー名	Google カレンダー ID	有効	ライセンス
<a href="#">編集</a>	00528000003A7y2AAC	A DANIEL	daniel	daniel@cs.demo-3.com		✓	
<a href="#">編集</a>	00528000003A7y4AAC	営業 花子	営業 花子	eigyo_hanako@example.com		✓	
<a href="#">編集</a>	00528000003A7y5AAC	営業 太郎	太営業	eigyou_taro@cs.demo-3.com		✓	
<a href="#">編集</a>	00528000003A7y6AAC	開発 ヨネ子	ヨ開発	kaihatsu_yoneko@cs.demo-3.com		✓	

インポート画面に遷移します。



#### (1) インポートする CSV ファイルの形式

ID	Google Account	Calendar ID
0000000000000000	<a href="mailto:aaaaaaa@xxxxxx.co.jp">aaaaaaa@xxxxxx.co.jp</a>	aaaaaaa@xxxxxx.co.jp

#### 【カラム】

ID : Salesforce ユーザー ID です。15 桁、もしくは 18 桁のどちらにも対応しています。

Google Account : Google Workspace にログインするときに使うアカウントのアドレスです。

Calendar ID : 同期対象の Google カレンダー ID です。

#### ※ CSV ファイルの注意点 ※

1. CSV ファイルに上記 3 つのカラムのうち一つでも欠けたとき、もしくは同じカラムが 2 つ以上あるときは、インポート処理がエラーになります。
2. CSV ファイルに上記 3 つに加えて別カラムがある場合、インポート処理中において、別カラムの列のデータは無視され、エラーにはなりません。
3. CSV ファイルの改行コードには、CR, LF, CRLF に対応しています。
4. CSV ファイルの文字コードには、UTF-8 を推奨しています。

#### (2) インポート処理に関する仕様

1. 「検証のみ」にチェックを入れてから、[インポート開始] をクリックすると、CSV ファイルの形式や CSV ファイルのデータを検証します。CSV ファイルのデータは登録されません。

2. CSV ファイルのユーザーのデータだけを更新します。CSV ファイルに無いユーザーのデータは、インポート前後で変更はされません。
3. 登録済みの "Google Account" や "Calendar ID" を削除したいときは、"ID" のカラムのみを残して、"Google Account" や "Calendar ID" を空白にした CSV ファイルをインポートしてください。
4. インポート時に、CSV ファイルのデータを並列で処理します。ある行でエラーが発生したとき、該当の行だけがスキップされます。他の行の処理には影響を与えません。
5. CSV ファイルをインポート中に、インポートを中断できます。中断した時点までに処理されたデータはインポートされます。
6. インポートした CSV ファイルをダウンロードできません。

## インポート結果画面

### インポートの結果

開始時刻	ファイル名	ステータス	レコード数	成功	失敗	実行時間	ログ
2017-06-06 11:30:55	Sync1.18.0.csv	完了	2	2	0	0:00:14	<a href="#">閲覧する</a>
2017-06-06 11:29:57	Sync1.18.0.csv	完了 (検証のみ)	2	2	0	0:00:16	<a href="#">閲覧する</a>
2017-06-06 11:22:51	Sync1.18.0.csv	失敗 (検証のみ)	2	1	1	0:00:28	<a href="#">閲覧する</a>

## 6. Salesforce にユーザーアカウントを持っていないユーザー \* を登録

\* 一方、Google Workspace アカウントを持っている

1. Salesforce にユーザーアカウントを持っていないユーザー（Google Workspace アカウントを持っている）を「取引先責任者」に登録します。
2. rakumo Sync Setup 画面の **「取引先責任者の設定」** をクリックします。



3. 1. の取引先責任者と Google カレンダー を紐づけます。

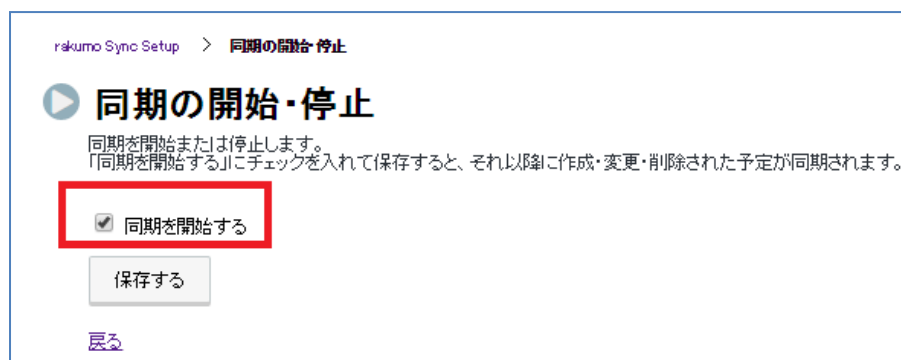


## 7. 全ユーザーの同期を開始／停止

1. rakumo Sync Setup 画面の **【同期の開始・停止】** をクリックします。



2. 同期を始めるときは、**【同期を開始する】** にチェックを入れて、**【保存する】** をクリックします。同期を止めるときは、**【同期を開始する】** からチェックを外して、**【保存する】** をクリックします。



全ての設定を完了した後に、新規に作成した予定や編集した予定が同期されます。設定前に作成済みの予定は、同期されません。ただし、作成済み予定においても、編集・更新することで同期されます。



## 8. ログの閲覧

Google カレンダーまたは Salesforce 行動カレンダー で予定の作成・編集・削除をされたとき、保存された動作ログを管理者が閲覧できます。閲覧できるログは、rakumo Sync ユーザーの操作だけです。rakumo Sync ではないユーザーの操作ログは保存されないため、閲覧できません。



「日付を選択」で日付を選べます。

「ログレベル」選択肢は、次の通りです。

Critical …ユーザーの認証エラーや設定が不十分などの理由により同期されなかった場合

Error …仕様や API のエラーなどの理由により同期されなかった場合

Warning … 警告



## ログの詳細画面

この画面で各ログの詳細を確認できます。

≡ ログの詳細	
ログID	59381817827978800
ログ日時	2017-01-16 14:44:05 +0900
ログレベル	✓ Info
メッセージ	予定 訪問調整中 を作成しました。
Sync ID	539kp9h58sg3u7u1v1ag3rrb9o@google.com <a href="#">→この予定の他のログを見る</a>
同期元	Google
予定のタイトル	訪問調整中
予定の開始日時	2017-01-24 13:00 +0900
カレンダーID	r.horita@xxxx.com
予定ID	539kp9h58sg3u7u1v1ag3rrb9o
同期先	Salesforce
カレンダーID	00510000002XStTAAW
予定ID	00U1000001QICXZEA5

### [→ この予定の他のログを見る](#)

このリンクから、予定の変更ログを時系列で確認できます。

## 予定の同期ログ メッセージ一覧

ログレベル	メッセージ	処理内容
Info	予定 xxx を同期しました (succeeded to sync the event xxx)	同期に成功
	予定 xxx を作成しました (created a new event xxx)	予定を作成
	予定 xxx を変更しました (modified the event xxx)	予定を変更
	予定 xxx を削除しました (deleted the event xxx)	予定を削除
	予定 xxx を復元しました (restored the event xxx)	予定をごみ箱から復元

ログレベル	エラー種別		メッセージ	エラーの原因
Error	UnableToSync	GuestsCannotSeeGuests	予定 xx (は同期 できません (failed to sync the event xxx)	「ゲストの一覧を表示する」がオフ
		PrivateSourceEvent		同期元の予定が非公開
		PrivateTargetEvent		同期先の予定が非公開
		RecurringToSingle		繰り返しから単独に変更
		SingleToRecurring		単独から繰り返しへ変更
		UnknownTargetOrganizer		同期先の予定管理者が非 Sync ユーザー
		SimilarEvent		タイトル・開始時刻・終了時刻・予定管理者（任命先）が同じ予定を 1 分以内に新規登録した
		UnlinkedRecurringEvent		rakumoSync 導入前に登録された繰り返し予定において一部の予定を変更した
	GoogleApiError	Forbidden		cannotModifyEvent - 繰り返しルールを変えた結果 ごみ箱に入った予定を復元した rateLimitExceeded - 一度に大量の予定を登録した 14 日を超える予定を登録した、など
	SalesforceApiError	BadRequest		API のエラー等により予定を取得できない
		NotFound		Google, Salesforce のサーバーに接続できない、サーバーからの応答が無い、など
	NetworkError			その他、内部エラー
	InternalError			
Critical	GoogleAuthError	InvalidGrant	予定 xx (は同期 できません (failed to sync the event xxx)	無効なユーザー
		UnauthorizedClient		マーケットプレイスアプリケーションが無効になっている
		AuthError		Invalid response 502 - Google の一時的な不具合など
	SalesforceAuthError	InvalidGrant	予定 xx (は同期 できません (failed to sync the event xxx)	無効なユーザー、接続アプリケーションの OAuth ポリシーの設定が不正、ログイン IP アドレスが制限されているなど
		InvalidAppAccess		プロファイルが割り当てられていない
		AppBlocked		接続アプリケーションがブロックされた
		AuthError		unknown_error、Invalid response 503 - Salesforce の一時的な不具合など
	SalesforceApiError	FieldNotAllowed		カスタム項目にアクセスできない

## 9. rakumo Sync による同期処理項目について

rakumo Sync で同期可能な項目と連携先の項目を以下にまとめます。

Salesforce の行動項目 ※1	同期可否	同期後の Google カレンダー項目 (API 表示ラベル)
終日行動	⇒	終日 (start.date、end.date ※5)
被招集者	⇒	ゲスト (attendees) ※2
説明	⇒	説明 (description)
[開始] または [時刻]	⇒	開始時刻 (終日の場合 : start.date、 非終日の場合 : start.dateTime)
終了	⇒	終了時刻 (終日の場合 : end.date 非終日の場合 : end.dateTime)
場所	⇒	場所 (location)
割り当て先	⇒	主催者 (organizer)
件名	⇒	件名 (summary)
非公開	×	連携対象外 ※3
アラーム日付/時間	×	連携対象外 ※3 ※4
アラーム設定	×	連携対象外 ※3 ※4
予定の公開方法	×	連携対象外 ※3
タイムゾーン	×	連携対象外 ※3

※1 Google カレンダーと同期する行動の項目は、Salesforce 行動レコードタイプの「マスタ」として割り当てられたページレイアウト内の項目です。事前に、Google カレンダーと同期させる予定の登録時に使用するページレイアウトを「マスタ」に設定してください。

※2 Salesforce / Google の仕様により同期内容に制限があります。詳細は、 **10. rakumo Sync による同期処理が制限される項目とその内容について** をご参照ください。

※3 Salesforce / Google の仕様により同期処理されない項目があります。詳細は、 **11. rakumo Sync による同期処理対象外の項目とその内容について** をご参照ください。

※4 連携元のカレンダーでは「予定作成時に設定した値」が保持されます。連携先のカレンダーでは、「カレンダーの初期値」のアラームがそれぞれ指定されます。（例：Google → Salesforce の場合、アラーム設定はなしの状態となります。Salesforce → Google の場合：カレンダーの「予定の通知設定」で設定している値が指定されます。）

※5 Google カレンダーの「終日」項目のチェックは純粋な同期処理による反映ではなく、開始・終了時刻が終日形式で指定されている（start.date、end.date に値が入っている）場合にチェックが入ります。

## 10. rakumo Sync による同期処理が制限される項目とその内容について

Salesforce の「行動」および Google カレンダーの「予定」の仕様により同期内容に制限があるものを以下にまとめます。

項目	制限事項	備考
文字数に関する制限	件名、説明、場所について Google カレンダーからの同期時に、Salesforce の行動では制限を超える文字数はカットされる	
予定を作成	<p>rakumo Sync のライセンスを持たない Google Workspace ユーザーが Google カレンダーで予定を作成したとき、参加者の rakumo Sync ユーザーの予定だけ Salesforce に同期される。</p> <p>一方、rakumo Sync のライセンスを持たない Salesforce ユーザーが Salesforce で予定を作成したとき、Google カレンダーには一切同期されない。</p>	
繰り返し予定の制限	Salesforce の行動では、予定の作成数が Salesforce の仕様で定められた数量以降はカットされる	<p>Salesforce で作成可能な定期的な行動の数量</p> <p>毎日：100</p> <p>毎週：53</p> <p>毎月：60</p> <p>毎年：10</p>
ゲストの人数制限	<p>招待可能なメンバー数：</p> <p>○ 単独の予定に対して 1,000 人まで</p> <p>○ 繰り返し予定に対して 100 人まで</p>	

参加ステータスの制限	招待されたメンバーの「参加する/しない」の返答は Google カレンダーに反映されない	Google カレンダーから Salesforce の行動へは反映される
ファイル添付	ファイル添付は同期されない	
ごみ箱から復元	<p>Salesforce でごみ箱から予定を復元したときは、Google カレンダーにも復元される。</p> <p>Google カレンダーのごみ箱から予定を復元したときは、Salesforce に新しい予定として作成される*。</p>	* Salesforce のごみ箱には元の予定が残る。
予定オーナー／任命先の変更	<p>Google カレンダーで予定オーナーを変更したとき、Salesforce の行動の任命先も変更される*。</p> <p>Salesforce で行動の任命先を変更したとき、Google カレンダーの予定の予定オーナーは変更されずに辞退になる。</p>	* 参加者がいる繰り返し予定においては、Salesforce の行動の任命先は変更されない
予定を辞退	<p>Salesforce の任命先が Google カレンダーで参加を辞退したとき、他の参加者が Salesforce の任命先になる。*1</p> <p>参加者に Sync ユーザーがいるとき、Sync ユーザー全員が Google カレンダーで参加を辞退すると、Salesforce の行動が削除される。</p> <p>Salesforce で参加を辞退しても、Google カレンダーでは辞退にならない。*2</p>	<p>*1 ただし、繰り返し予定の場合、任命先は変更されない。</p> <p>*2 ただし、Salesforce で行動を変えた（更新した）とき、Google カレンダーでも辞退になる。</p>
その他	右記の項目は同期されない	関連先/名前、カスタム項目やゲストへの権限など各カレンダーが独自で持っている機能及び項目

## 11. rakumo Sync による同期処理対象外の項目とその内容について

Salesforce の「行動」および Google カレンダーの「予定」の仕様により同期処理されないものを以下にまとめます。

項目	制限事項	備考
単発の予定	Google カレンダーで 14 日を超える予定は Salesforce の行動に同期されない	Salesforce の「行動」の制限事項
繰り返し予定	Google カレンダーで一つの予定が 24 時間を超える繰り返し予定は Salesforce の行動に同期されない	Salesforce の「行動」の制限事項
	Google カレンダーで単発の予定から繰り返し予定への変更および繰り返し予定から単発の予定への変更は Salesforce の行動に同期されない	Salesforce の「行動」の制限事項
	Salesforce の Lightning Experience で作成した「一連の行動」予定は、Google カレンダーへ同期されない	Salesforce の仕様
関連先および名前に紐付いた「行動」	「行動」に紐付いた関連先及び名前のデータレコードを削除すると、rakumo Sync の同期の対象外になる	Salesforce の仕様 ※Google カレンダーには予定が残ります
Salesforce の「行動」項目に入力規則がある場合	Google カレンダーで予定を登録するとき、入力規則から外れた値を入力すると Salesforce へ予定が同期されない	ただし、Salesforce の「行動」から Google カレンダーへの同期は制限されません
非公開予定（限定公開予定）	非公開（限定公開）で登録された予定は、同期されない。この予定を、編集、削除したときも同期されない	非公開の予定を公開に変更したときは、公開予定として同期されます。ただし、公開予定を非公開に変更したときは、非公開として同期されません。
ゲストの権限	Google カレンダーのゲストの権限で、「ゲストの一覧を表示する」のチェックを外した予定は、Salesforce へ同期されない	



## 12. プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] ご利用時の追加設定

プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] を設定している場合、rakumo Sync をご利用になるための追加設定が必要です。

### ● プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] とは？

プロファイルを割り当てられたユーザーからの Salesforce へのログインを、指定した IP アドレスからのみに制限することができる機能です。※

設定した場合、指定した IP アドレス以外の IP アドレスからのログインができなくなります。

詳しくは、以下の Salesforce サポートページをご参照ください。

#### ▼ プロファイルでのログイン IP アドレスの制限

[https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.login\\_ip\\_ranges.htm&type=5](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=sf.login_ip_ranges.htm&type=5)

※ 「[組織の信頼済み IP 範囲の設定](#)」とは異なりますのでご注意ください。

### ● 追加設定が必要な理由

rakumo Sync では、予定を同期する際に API 経由で Salesforce に接続します。

プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] を利用し、設定の中に rakumo Sync の IP アドレスが含まれていない状態ですと、認証エラーにより予定の同期処理が失敗してしまいます。

プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] を設定している場合でも正常に予定を同期できるようにするために、本章の追加設定が必要となります。

## ● ご利用状況別の対応の流れ

- ☆ プロフィールの [ログイン IP アドレスの制限] を設定中で、rakumo Sync を利用開始する場合  
本章の設定を実施したのちに、rakumo Sync の同期を開始していただくとスムーズです。

対応例：

1. 1～6章のインストール・初期設定を実施する
2. 本章の手順に沿って Sync の IP アドレス範囲を追加する
3. 7章の手順で同期を開始する

- ☆ rakumo Sync を利用中で、プロフィールの[ログイン IP アドレスの制限]を追加する場合

設定変更による同期の失敗や予期せぬトラブルの発生を抑えるために、Sandbox 環境での事前動作テスト実施や、本番環境の変更実施タイミングでの予定登録・編集・削除操作を控えていただくようユーザー様へ周知する等のご検討をおすすめいたします。

対応例は一例です。貴社の Salesforce 運用ルールに沿った形でのご対応をご検討ください。

対応例：

1. sandbox 環境での事前動作テストを実施する  
通常ログインに使用する IP アドレスを追加し、本章の手順に沿って rakumo Sync の追加設定を実施してください
2. 設定変更日時・同時間帯の予定操作を控えていただく旨をユーザーに周知する
3. 本番環境の設定を変更する
4. 変更後の動作チェックを実施して問題がなければ、作業完了の旨をユーザーに周知する
5. rakumo Sync Setup > ログの閲覧 ページで、設定切り替え前後で同期できなかった予定操作の有無を確認する
6. 同期できなかった予定がある場合には、ユーザーへ再操作を依頼する

## 12-1. 追加設定手順

設定時には、以下の2つの作業を実施します。

1. rakumo Sync Admin、rakumo Sync Engine の IP 制限の緩和 の値を「IP 制限を適用」にする
2. プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] に、rakumo Sync の IP アドレスを追加する

次ページ以降で、各作業の詳しい手順をご紹介します。

### ● 設定前にご確認ください

rakumo Sync の現在の IP アドレスは、**34.123.76.31** です。

設定から ログイン履歴を開いて、アプリケーション「rakumo Sync Engine」または「rakumo Sync Admin」の「アクセス元 IP」が上記の値になっていることをご確認ください。

ログイン履歴

このページのヘルプ

過去 6 か月のログイン履歴をダウンロードします。または、過去 6 か月のログイン履歴を絞り込んで、最大 20,000 レコードのログイン履歴を表示します。

[場所] には、ユーザーがログインした IP アドレスのおおよその場所が表示されます。市区郡や郵便番号などの他の地理情報を表示するには、それらの項目を含むカスタムビューを作成します。地理位置情報テクノロジーの性質上、地理位置情報項目 (国、市区郡、郵便番号など) の精度は異なる場合があります。

ダウンロードオプション

ファイルの種類

☒ CSV ファイル

☐ GZIP ファイル

ファイルの内容

すべてのログイン

今すぐダウンロード

ビュー: [すべて] 新規ビューの作成

前のページ | 次のページ

ユーザー名	ログイン時刻	アクセス元 IP	場所	種別	状況	ブラウザ	プラットフォーム	アプリケーション	クライアントのバージョン	API 種別	API バージョン	ログイン URL	HTTP メソッド
admin@cs.demo-3.com	2024/06/24 11:38:43 JST	34.123.76.31	United States	Remote Access 2.0	成功	不明	不明	rakumo Sync Engine	N/A	N/A	N/A	login.salesforce.com	POST
admin@cs.demo-3.com	2024/06/24 11:38:41 JST	34.123.76.31	United States	Remote Access 2.0	成功	不明	不明	rakumo Sync Engine	N/A	N/A	N/A	login.salesforce.com	POST
admin@cs.demo-3.com	2024/06/24 11:38:39 JST	34.123.76.31	United States	Remote Access 2.0	成功	不明	不明	rakumo Sync Engine	N/A	N/A	N/A	login.salesforce.com	POST

### Tips

Salesforce のログイン履歴ページには、以下の方法でアクセスできます。

1. Salesforce の 設定 を開き、[クイック検索] 欄に「ログイン履歴」と入力します。
2. 結果に表示された [ログイン履歴] を選択します。

## 手順 1. rakumo Sync Admin、rakumo Sync Engine の IP 制限の緩和 の値を「IP 制限を適用」にする

1. Salesforce の 設定 から、接続アプリケーションの一覧を開きます。

画面名称は、ご利用の表示モードにより異なります。

### ■ For Lightning Experience

アプリケーション > 接続アプリケーション > 接続アプリケーションを管理する を開きます。

アクション	マスター表示ラベル	アプリケーションバージョン	許可されているユーザー
編集	Chatter Desktop	22.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Chatter Mobile for BlackBerry	22.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	rakumo Sync Admin	4.0	管理者が承認したユーザーは事前承認済み
編集	rakumo Sync Engine	4.0	管理者が承認したユーザーは事前承認済み
編集	SalesforceA	16.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Salesforce Chatter	15.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Salesforce Files	20.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Salesforce for Android	22.0	すべてのユーザーは自己承認可能

### ■ For Salesforce Classic

アプリケーションを管理する > 接続アプリケーション を開きます。

アクション	マスター表示ラベル	アプリケーションバージョン	許可されているユーザー
編集	Chatter Desktop	22.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Chatter Mobile for BlackBerry	22.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	rakumo Sync Admin	4.0	管理者が承認したユーザーは事前承認済み
編集	rakumo Sync Engine	4.0	管理者が承認したユーザーは事前承認済み
編集	SalesforceA	16.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Salesforce Chatter	15.0	すべてのユーザーは自己承認可能
編集	Salesforce Files	20.0	すべてのユーザーは自己承認可能

2. はじめに、rakumo Sync Admin について作業を行います。

rakumo Sync Admin 行の「編集」をクリックします。

アクション	マスター表示ラベル	アプリケーションバージョン
編集	Chatter Desktop	22.0
編集	Chatter Mobile for BlackBerry	22.0
編集	rakumo Sync Admin	4.0
編集	rakumo Sync Engine	4.0
編集	SalesforceA	16.0

3. OAuth ポリシー > IP 制限の緩和 の値が「IP 制限を適用」となっているかどうか確認します。

**接続アプリケーションの編集**



バージョン 4  
説明

---

**基本情報** 🔒 必須情報

開始 URL <input type="text"/>	モバイル開始 URL <input type="text"/>
-----------------------------	---------------------------------

**OAuth ボットシー**

許可されているユーザー シングルスログアウトを有効化 ☒
**管理者が承認したユーザーは事前承認済み ✓**

IP 制限の種類

更新トークンポリシー

- ☒ IP 制限を適用
  - 更新トークンは取り消されるまで有効
  - 更新トークンを再発行に期限切れにする
  - 次に使用されていない更新トークンを期限切れにする
  - 次の期間が経過したら更新トークンを期限切れにする






[日]

[日]

4. IP 制限の緩和 の値がすでに「IP 制限を適用」となっている場合は、6 へ進んでください。
5. 「IP 制限を適用」以外の値となっている場合は、「IP 制限を適用」を選択して、画面下部の「保存」をクリックします。

6. 続いて、rakumo Sync Engine について作業を行います。

接続アプリケーションの一覧ページに戻り、rakumo Sync Engine 行の「編集」をクリックします。

アクション	マスター表示ラベル ↑	アプリケーションバージョン
<a href="#">編集</a>	 <a href="#">Chatter Desktop</a>	22.0
<a href="#">編集</a>	 <a href="#">Chatter Mobile for BlackBerry</a>	22.0
<a href="#">編集</a>	 <a href="#">rakumo Sync Admin</a>	4.0
<a href="#">編集</a>	 <a href="#">rakumo Sync Engine</a>	4.0
<a href="#">編集</a>	 <a href="#">SalesforceA</a>	16.0

7. OAuth ポリシー > IP 制限の緩和 の値が「IP 制限を適用」となっているかどうか確認します。

[接続アプリケーション](#)

## rakumo Sync Engine

[このページへ戻る](#)

---

### 接続アプリケーションの編集

	<div style="float: right; text-align: right;">バージョン 4 <a href="#">説明</a></div>
---	--

---

#### 基本情報

開始 URL

モバイル開始 URL

---

#### OAuth ポリシー

許可されているユーザー [管理者が承認したユーザーは事前承認済み](#)

シングルのアカウントを有効化 ☐

IP 制限の種類 [IP 制限を適用](#)

更新トークンポリシー

- ☒ 更新トークンは取り消されるまで有効
- ☐ 更新トークンを選択的に期限切れにする
- ☐ 次で使用されていない更新トークンを期限切れにする
- ☐ 次の期間が経過したら更新トークンを期限切れにする

8. IP 制限の緩和 の値がすでに「IP 制限を適用」となっている場合、手順 1 は終了です。手順 2 へ進んでください。

9. 「IP 制限を適用」以外の値となっている場合は、「IP 制限を適用」を選択して、画面下部の「保存」をクリックします。

以上で、手順 1 の設定は完了です。

## 手順 2. プロファイルの [ログイン IP アドレスの制限] に、rakumo Sync の IP アドレスを追加する

Lightning Experience を使用しているかどうかと、拡張プロフィールユーザーインターフェースを有効にしているかどうかにより、画面の名称や表示が異なります。

お使いの Salesforce 環境の画面表示に沿った箇所をご参考ください。

1. Salesforce の 設定 から、プロフィールの一覧を開きます。

### ■ Lightning Experience の場合

ユーザー > プロファイル を開きます。



### ■ Salesforce Classic の場合

ユーザーの管理 > プロファイル を開きます。



2. rakumo Sync を利用するユーザーに割り当てているプロフィール名をクリックします。  
ここでは、例として「カスタム：標準ユーザ（rakumo 一般）」を選択します。

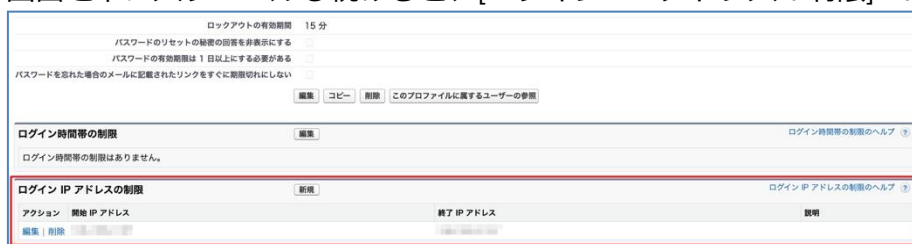
編集	カスタマーポータルマネージャー	Customer Portal Manager
編集   削除	カスタム：システム管理者 (rakumo管理者)	Salesforce
編集   削除	カスタム：標準ユーザ (rakumo一般)	Salesforce
編集	システム管理者	Salesforce
編集	ソリューション管理者	Salesforce

### 3. [ログイン IP アドレスの制限] の設定箇所を探します。

- 拡張プロファイルユーザーインターフェースを有効にしている場合  
システム 配下に存在する [ログイン IP アドレスの制限] をクリックしてください。



- 拡張プロファイルユーザーインターフェースを無効にしている場合  
画面を下にスクロールし続けると、[ログイン IP アドレスの制限] の設定箇所が表示されます。



### 4. Sync 用の IP 範囲を作成します。

- 拡張プロファイルユーザーインターフェースを有効にしている場合  
「IP 範囲の追加」をクリックします。



- 拡張プロファイルユーザーインターフェースを無効にしている場合  
「新規」をクリックします。



5. 開始 IP アドレス、終了 IP アドレス両方に、Sync の IP アドレス「34.123.76.31」を入力して、「保存」をクリックします。

#### ■ 拡張プロファイルユーザーインターフェースを有効にしている場合

**ログイン IP アドレスの制限**

このプロファイルのユーザーがログイン可能な IP アドレスの範囲を指定します。

開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	説明
34.123.76.31	34.123.76.31	rakumo Sync 用

保存 保存 & 新規 キャンセル

#### ■ 拡張プロファイルユーザーインターフェースを無効にしている場合

**ログイン IP アドレスの制限**

このプロファイルのユーザーがログイン可能な IP アドレスの範囲を指定します。

保存 キャンセル

IP アドレス範囲の指定

開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	説明
34.123.76.31	34.123.76.31	rakumo Sync 用

保存 キャンセル

6. 保存が完了すると、ログイン IP アドレスの制限一覧に設定した IP 範囲が表示されます。

#### ■ 拡張プロファイルユーザーインターフェースを有効にしている場合

**ログイン IP アドレスの制限**

アクション	開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	説明
編集   削除	34.123.76.31	34.123.76.31	rakumo Sync 用

#### ■ 拡張プロファイルユーザーインターフェースを無効にしている場合

**ログイン IP アドレスの制限**

アクション	開始 IP アドレス	終了 IP アドレス	説明
編集   削除	34.123.76.31	34.123.76.31	rakumo Sync 用



7. 操作したプロフィール以外に rakumo Sync 利用ユーザーに割り当てているプロフィールが存在しログイン IP アドレスの制限の実施が必要な場合は、プロフィール数分、手順 2 の 1～6 を繰り返します。

以上で手順 2 の設定は完了です。

ここまでの設定が完了すると、ユーザーはプロフィールの [ログイン IP アドレスの制限] を適用したまま、rakumo Sync で予定を同期することができるようになります。